

三鷹市立第四中学校 令和5年度【 道徳 】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○生徒が道徳的価値について考え、理解できる題材を設定する。</p> <p>○自分の考えを他者に伝え、また、他者の考えを自己に取り入れ、物事を多面的・多角的に考えられるように、授業の展開を工夫する。</p>	<p>【現状】</p> <p>○多くの生徒は、与えられたテーマについて、自分の考えをもち、グループワーク等を通して、他者の意見に耳を傾け、自身の考えを深めることができている。</p> <p>【課題】</p> <p>○道徳的価値について理解し、大切なことであると認識しているが、自分事として捉えることが十分でない。</p>	<p>【指導方法の課題】</p> <p>○題材の選定</p> <p>○授業展開の工夫</p> <p>【授業改善策】</p> <p>○生徒が道徳的価値についてじっくりと考えられる題材を設定する。</p> <p>○映像資料を用いたり、ロールプレイなどを通して、道徳的価値を自分事として感じ、考えられるような指導法を工夫する。</p> <p>○他者の考えを聞く時間を十分に取れるように、グループワークの進め方や授業の展開を工夫し、物事を多面的・多角的に捉えられるようにする。</p>
第2学年	<p>○画像やスライドを活用し、場面設定をしっかりと把握させることで、具体的な場面をイメージし自分事としてとらえることができている。</p> <p>○モラルジレンマ等の意見や考えが分かれる題材・問を設定し、互いの意見を伝え議論し合う中で、自己の考えを深めることができている。</p>	<p>【現状】</p> <p>○多くの生徒が自分の考えをもち、相手に意見を伝えることができている。</p> <p>○多くの生徒が多様な意見を認め合うことができている。</p> <p>【課題】</p> <p>○道徳的価値を理解し、大切なことであると認識しているが、日常生活に活かすことが十分にできていない。</p>	<p>【指導方法の課題】</p> <p>○日常生活に活かすための授業展開</p> <p>○自分事として考え議論できるような題材・設問の設定</p> <p>【授業改善策】</p> <p>○日常生活とのつながりを意識させるために、ロールプレイなど体験的な学習を行い、道徳的価値を自分事として感じ、考えられるような指導法を工夫する。</p> <p>○他者と考えを共有する時間を十分にとるとともに、タブレットを活用したりグループを交換したりしてより多くの人を考えを共有することで、多様な意見や考えに触れる機会をつくる。</p>
第3学年	<p>○ロールプレイやグループ討議を積極的に取り入れたことにより自分事として捉え、考えを深められるようになってきた。</p> <p>○様々な意見や考えを伝え合う場面を多く設定したことにより、多様性を受け入れ、他の人の良さを認める姿勢が見られるようになった。</p>	<p>【現状】</p> <p>○他を認め、共により良い、楽しい生活を送るために協力しようという姿勢が見られる。</p> <p>○様々な意見や考えを伝え合う場面では積極的に取り組む生徒が多い。</p> <p>【課題】</p> <p>○道徳的価値の大切さについては理解しているが、日常的な場面でも継続的に意識できるようにさせる。</p> <p>○リーダーを中心に、お互いに高め合い、集団として更に成長しようとする姿勢を育てる。</p>	<p>【指導方法の課題】</p> <p>○自分の考えを伝えたり、他者の意見を聞いたりする時間を十分に確保する。</p> <p>○自分事として捉え考えられる授業展開の工夫。</p> <p>【授業改善策】</p> <p>○タブレットを用いて自分の考えを伝え合うことにより、様々な意見をより多く共有できるようにする。</p> <p>○学期の最後にそれまでのワークシートの記述などを用いて振り返りを行い、継続して意識できるようにさせる。</p> <p>○ロールプレイや話し合い活動など、体験的な場面を多く取り入れることにより、自分事として捉え、より深く考えられるようにする。</p>